

平成28年度以降の教育・保育説明会のお知らせ

37年間続けた「保育園」から「幼保連携型認定こども園」になり1年が過ぎました。昨年度から、内閣府の主導のもと1) 少子化対策、2) 待機児童対策、3) 日本が今後も文化、経済、国際協調の面で持続的に発展する人材を育てるために「子ども子育て支援新制度」がスタートしました。政府が新制度で最も力を入れたのが「幼保連携型認定こども園」の普及です。それは児童福祉施設と学校の両面を持つ施設で、乳幼児の擁護と学校教育の両面で質の高い運営を行うことが、設置者である社会福祉法人、学校法人に求められています。

説明会では、和光会の考える“質の高い教育・保育とは”について副園長より説明させていただきます、保護者の皆様よりご意見を頂こうと思っております。是非、ご参加ください。また、今回は東京より株式会社スマートエデュケーション 代表取締役 池谷大吾氏を迎え特別講演を行います。

第一回 日時 平成28年6月3日（金）午後6時15分から8時まで
場所 野々市市情報交流館カメラア 定員 50名

第二回 日時 平成28年6月4日（土）午前10時から12時まで
場所 幼保連携型認定こども園和光2F 職員室 定員 15名

申込み info@wakohoikuen.or.jpまで、「〇組、園児名、第〇回に参加」とメッセージをお送りください。

特別講演 「生きる力を育む、21世紀型の幼児教育」



<テーマ>

20年後の社会では職業の47%が人工智能に代替されると言われており、変化に対応して生きる事が求められるようになります。

将来を見据えた幼児教育の意義とポイントについて、昨今注目が集まる“21世紀型スキル”をテーマに、iPadなどのICTを活用した幼児教育の普及に取り組む(株)スマートエデュケーション代表取締役の池谷大吾氏が講演。21世紀型の幼児教育について、深くご理解いただける機会です。

<主な講演内容>

- 激変が予想される20年後の社会と、子ども達の未来は？
- 21世紀に相応しい「創造力」と「チームワーク力」を養う方法とは？
- 「21世紀のはさみ」と言われるICTを“有効活用できる力”とは？

<スピーカー>

池谷大吾 氏

株式会社スマートエデュケーション 代表取締役

日本ビューレットパッカー株式会社でシステムコンサルタントとして活躍後、株式会社シーエー・モバイルに参画し、同社執行役員、取締役に。2011年、ICTを活用した学習コンテンツの企画開発を手掛ける株式会社スマートエデュケーションを創業。